



臨時災害放送局用
FM放送機材

いざという時！**付属**
すぐに使用できる！
運営マニュアル
免許申請・設置操作・放送
全てを徹底解説

臨時災害放送局用FM放送システム

1995年1月の「阪神淡路大震災」後、日本国内で「臨時災害放送局」の制度が出来、2011年3月11日に発生した「東日本大震災」では被災地で24の自治体が「臨時災害放送局」を立ち上げました。

被災地では被災者への「生活支援情報」及び「救援活動情報」を届けるためにラジオは有効な手段の一つで広報活動には欠かせないツールとなっています。

当NPOは東北の「臨時災害放送局」並びに「コミュニティ放送局」をサポートする団体で東日本大震災の教訓を基に「臨時災害放送局」を運営するための「放送装置」と「運営マニュアル」を作製しました。

日本はこれから「いつ」「どこで」「どのような」大規模な災害が発生するかわかりません。

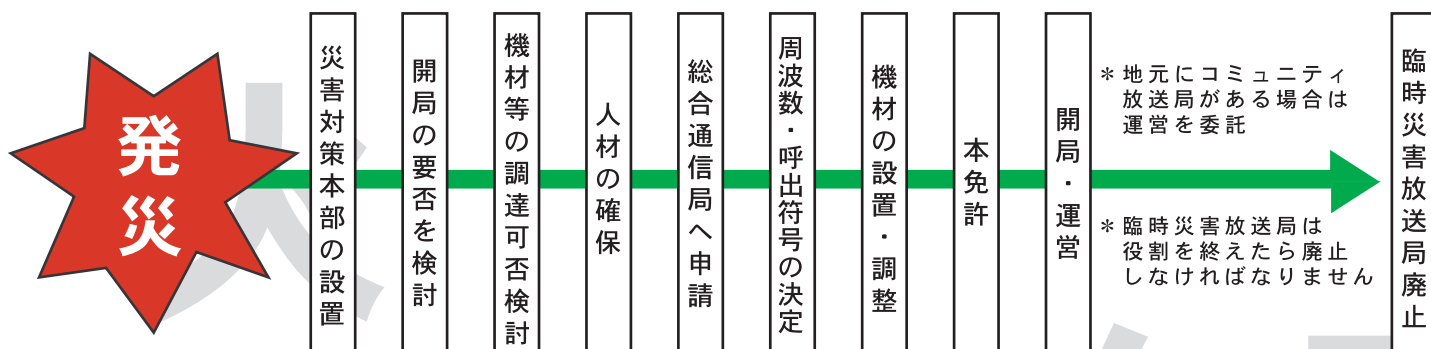
いざという時の備えとして「臨時災害放送局」を運営できるシステムをご提案致します。

コンパクト
だれにでも運べる
重量/サイズ

完全ガイド
東日本大震災の
教訓を活かした

安心サポート
臨災局経験者が
導入を支援

■臨時災害放送局の開局手順



*大規模な災害時は臨機の措置（口頭による）免許申請が可能です



特定非営利活動法人

日本地域放送支援機構

登録検査等事業者

JAPAN AREA BROADCAST SUPPORT ORGANIZATION

臨時災害放送局の開局は総務省（総合通信局）への申請が必要です

◆システムの特徴

可搬型かつシンプルな設計。操作も簡単です。

「東日本大震災」で活躍した「臨時災害放送局」のノウハウを凝縮した「運営マニュアル」が「臨時災害放送局」開設を完全サポートします。

送信機×1・CD／メモリ再生機×1・CD／メモリ録音機×1
ミキサー×1・接続端子盤×1・マイク（ヘッドセット型）×2
ヘッドフォン×2・ヘッドフォンアンプ×1・各種接続ケーブル一式
送信アンテナ（ダイポール）×1・ダミーロード×1
アンテナマスト（伸縮ポール型6m）×1（設置付属部材一式付）
給電線（5D型）50m（30m×1・20m×1・N型中継コネクタ付）
発電機×1（900Wガソリン）・電工ドラム×1（20m）

*臨時災害放送局用F M送信システムは受注生産品の為、納期は発注後2～3ヶ月要します

運営マニュアル

- 申請編
総務省へ提出する各種様式を記入例を挙げて解説
- 機材編
機器の設置、操作方法を写真入りで分かりやすく解説
- 運用編
放送を開始する際の基本事項を丁寧に解説
- 広報文例
運用中に放送する緊急情報の広報文例を解説
- その他
参考図書（臨時災害放送局解説の手引き）
BGMのご紹介 その他

■主な機器仕様

放送機器類

- ダミーロード ●ヘッドフォンアンプ
- F M送信機
(76.0～90.0MHz可変)
(送信出力0～100W)
- CD／メモリ再生機
- CD／メモリ録音機
- ミキサー（音量調整）
- 接続端子盤（接続切換）



送信アンテナ類

- 臨時災害局用F M送信アンテナ（日本アンテナ製）

項目	仕様
型名	C-DP-0802B
使用周波数 (MHz)	76.0～90.0MHz
利得 (dBi)	2.15dBi
インピーダンス (Ω)	公称50Ω
偏波面	水平・垂直
耐電力 (W)	200W
質量 (kg)	2kg(取付金具含まず)



エレメント交換部拡大図

臨時災害放送局は事前に周波数を割り当てられません。
総務省へ申請した後割り当てとなります。
本アンテナはエレメントプラグを交換することにより76.0～90.0MHzまで全周波数に対応することが出来ます。
(アンテナプラグ6組付属)



エレメント交換部

送信アンテナ

◆お問い合わせ◆

【2015.4.1】



登録検査等事業者
JAPAN AREA BROADCAST SUPPORT ORGANIZATION

〒990-0043
山形県山形市本町2-4-14 津多屋ビル2階
TEL 023-674-6855 FAX 023-674-6856
URL <http://www.j-abs.org/> E-mail info@j-abs.org

販売店・代理店